

野菜 除草剤一覧

2021年7月1日現在

作物	使用除草剤名	適用雑草	特性	摘要	
イチゴ	親株床	ラッソー乳剤	一年生雑草	選択性 イネ科、カヤツリグサ科＞広葉	1 親株から発生するランナーは除草剤に弱く薬害がでるので、処理はランナーの発生初めまでに終わるようにする。ランナー発生後は除草剤を使用せず手取り除草とする。
	子苗床	ラッソー乳剤	一年生雑草	選択性 イネ科、カヤツリグサ科＞広葉	1 活着不良苗や小苗は薬害が生じやすいので注意する。
	本圃	ラッソー乳剤	一年生雑草	選択性 イネ科、カヤツリグサ科＞広葉	1 イネ科雑草優占ほ場で使用する。
		ナブ乳剤	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	残効性 極短	1 イネ科雑草優占ほ場で使用する。
ナス	トレファノサイド乳剤 (露地栽培)	一年生雑草 (ユクサ科、カヤツリグサ科、 キク科、アブラナ科を除く)	イネ科＞広葉 残効性40日～50日		
トマト	トレファノサイド乳剤 (露地栽培)	一年生雑草 (ユクサ科、カヤツリグサ科、 キク科、アブラナ科を除く)	イネ科＞広葉 残効性40日～50日	1 定植直後に使用するときは作物の生長点に薬液がかかからないよう注意する。 2 広葉雑草、カヤツリグサに効果劣る。	
	トレファノサイド粒剤2.5 (露地栽培)	一年生雑草 (ユクサ科、カヤツリグサ科、 キク科、アブラナ科を除く)			
ピーマン	トレファノサイド乳剤 (露地栽培)	一年生雑草 (ユクサ科、カヤツリグサ科、 キク科、アブラナ科を除く)	イネ科＞広葉 残効性40日～50日		
キュウリ	トレファノサイド乳剤 (露地栽培(移植栽培)) (露地栽培(直播栽培))	一年生雑草 (ユクサ科、カヤツリグサ科、 キク科、アブラナ科を除く)	イネ科＞広葉 残効性40日～50日	1 処理後、誘引が遅れ風雨等で倒伏した場合、土砂のはね返り等で薬液が付着しネクロシス等をおこすおそれがある。	
	トレファノサイド粒剤2.5 (露地栽培(移植栽培)) (露地栽培(直播栽培))	一年生雑草 (ユクサ科、カヤツリグサ科、 キク科、アブラナ科を除く)			
スイカ	トレファノサイド乳剤 (トンネル・マルチ栽培) (露地栽培)	一年生雑草 (ユクサ科、カヤツリグサ科、 キク科、アブラナ科を除く)	イネ科＞広葉 残効性40日～50日	1 キャップ、トンネルマルチ栽培では被覆外の裸地に処理する。 2 定植は、植穴部分の土を取り除いて定植し、株のまわりのマルチを無処理の土でおさえる。 3 生育期の処理は茎葉にかからないように散布する	
	トレファノサイド粒剤2.5 (トンネル・マルチ栽培)	一年生雑草 (ユクサ科、カヤツリグサ科、 キク科、アブラナ科を除く)			
トウモロコシ	ゲザノンフロアブル	一年生雑草		1 砂質土では薬害が出ることがあるので使用しない。	
	ゲザプリムフロアブル	一年生雑草	広葉＞イネ科		
	ラッソー乳剤	一年生雑草	選択性 イネ科、カヤツリグサ科＞広葉		
豆類 (未成熟)	ナブ乳剤	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	残効性 極短	1 イネ科雑草優占ほ場で使用する。	

野菜 除草剤一覧

2021年7月1日現在

作物	使用除草剤名	適用雑草	特性	摘要
キャベツ	アグロマックス水和剤	一年生雑草 (キク科、カヤツリグサ科を除く)		
	クレマート乳剤	一年生雑草	選択性 イネ科>広葉	1 キク科、ツユクサ、多年生雑草には効果が劣る。
	ゴーゴーサン細粒剤F	一年生雑草	イネ科≧広葉 (ツユクサ、キク科除く)	1 激しい降雨が予想される時には使用をさける。 2 散布後2～3日間は、大量の灌水はしない。 3 セル成型苗（プラグ苗）には使用をさける。
	ゴーゴーサン乳剤30	一年生雑草	イネ科≧広葉 (ツユクサ、キク科除く)	
	コンボラル	一年生雑草 (ツユクサ、キク科を除く)		1 激しい降雨が予想される時には使用をさける。 2 雑草の発生前～発芽時に有効で、生育が進むと効果は低下する。 3 セル成型苗（プラグ苗）には使用をさける。
	シアノット	一年生雑草	非選択性茎葉処理剤	1 生育期に畝間処理する場合には作物に直接かからないように注意する。
	デュアルゴールド	一年生雑草		
	デュアル乳剤	一年生雑草	選択性 イネ科、カヤツリグサ科>広葉	1 作物に直接かからないように散布する。砂土では使用しない。
	トレファノサイド乳剤 (移植栽培)(直播栽培)	一年生雑草 (ツユクサ科、カヤツリグサ科、 キク科、アブラナ科を除く)	イネ科>広葉 残効性40日～50日	1 イネ科雑草優占ほ場で使用する。
	トレファノサイド粒剤2.5 (移植栽培)			
	ナブ乳剤	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	残効性 極短	1 イネ科雑草優占ほ場で使用する。
	バスタ液剤	一年生雑草	非選択性茎葉処理剤	1 生育期に畝間処理する場合には作物に直接かからないように注意する。
	フィールドスターP乳剤	一年生雑草 (アカサ科・アブラナ科・クサビ科を 除く)		
	フィールドスター乳剤	一年生雑草 (アカサ科・アブラナ科・クサビ科を 除く)		1 生育初期での散布や希釈水量が多いと、生育抑制を起こす場合があるので、希釈 水量を守るとともに苗の活着後に散布し、降雨前の散布は避ける。 2 雑草の発生前～発芽時に有効で、生育が進むと効果は低下する。 3 砂土には適用無し。
	ポルトフロアブル	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)		
ラッソー乳剤	一年生雑草	選択性 イネ科、カヤツリグサ科>広葉		
ブロッコリー	トレファノサイド乳剤	一年生雑草 (ツユクサ科、カヤツリグサ科、 キク科、アブラナ科を除く)	イネ科>広葉 残効性40日～50日	
	トレファノサイド粒剤2.5 (移植栽培)			
	ラッソー乳剤	一年生雑草	選択性 イネ科、カヤツリグサ科>広葉	

野菜 除草剤一覧

2021年7月1日現在

作物	使用除草剤名	適用雑草	特性	摘要
ハクサイ	トレファノサイド乳剤 (移植栽培)(直播栽培)	一年生雑草 (ユクサ科、カヤツリグサ科、 キ科、アブラナ科を除く)	イネ科>広葉 残効性40日~50日	1 ハクサイは葉害がでやすいので、覆土を発芽に支障がない程度に厚くする。
	トレファノサイド粒剤2.5 (移植栽培)(直播栽培)			
	ポルトフロアブル	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)		
	ラッソー乳剤	一年生雑草	選択性 イネ科、カヤツリグサ科>広葉	
タカナ	バスタ液剤	一年生雑草		
レタス	アグロマックス水和剤 (春播栽培)(秋播栽培)	一年生雑草 (キ科、カヤツリグサ科を除く)		
	クレマート乳剤	一年生雑草	選択性 イネ科>広葉	
	トレファノサイド乳剤 (露地栽培)	一年生雑草 (ユクサ科、カヤツリグサ科、 キ科、アブラナ科を除く)	イネ科>広葉 残効性40日~50日	
ネギ	ゴーゴーサン乳剤30	一年生雑草	イネ科≧広葉 (ユクサ、キ科除く)	
	ディ・トラベックス油剤	一年生雑草		
	ラウンドアップマックスロード	一年生雑草	非選択性茎葉処理剤	1 生育期に畝間処理する場合には作物に直接かからないように注意する。
タマネギ	アクチノール乳剤 (秋播移植栽培)	一年生広葉雑草	選択性	1 処理時期が遅れると効果が劣るので適期を失しないよう注意する。また、高温時に使用すると葉害がでるのでさける。
	クレマートU粒剤 (秋播栽培)(春播栽培)	一年生雑草		1 多年生雑草、キ科雑草およびツユクサには効果が劣る。
	クレマート乳剤 (秋播栽培)	一年生雑草	選択性 イネ科>広葉	1 春期には葉にねじれが生じる場合があるので使用しない。
	クロロIPC乳剤	一年生雑草	選択性 イネ科>広葉 残効性 低温条件40~50日 高温条件4~5日	
	ゴーゴーサン細粒剤F (春播栽培)(秋播栽培) (秋播マルチ栽培)	一年生雑草	イネ科≧広葉 (ユクサ、キ科除く)	1 激しい降雨が予想される時には使用をさける。
	ゴーゴーサン乳剤30 (移植栽培)	一年生雑草	イネ科≧広葉 (ユクサ、キ科除く)	1 激しい降雨が予想される時には使用をさける。
	セレクト乳剤	一年生イネ科雑草	選択性	

野菜 除草剤一覧

2021年7月1日現在

作物	使用除草剤名	適用雑草	特性	摘要
タマネギ	トレファノサイド乳剤 (本畑)	一年生雑草 (ツクサ科、カヤツリグサ科、 キク科、アブラナ科を除く)	イネ科>広葉 残効性40日~50日	
	ナブ乳剤	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	残効性 極短	1 イネ科雑草優占ほ場で使用する。
	バサグラン液剤(Na塩) (秋播移植栽培) (春播移植栽培)	一年生雑草 (イネ科を除く)	選択性 広葉>イネ科	
	ホーネスト乳剤	一年生イネ科雑草		
	ボクサー	一年生雑草		
アスパラガス	ザクサ液剤	一年生雑草		
	センコル水和剤	一年生雑草		1 苗床や未収穫の養成畑での使用を避ける。 2 擬葉展開後に使用する場合は、茎葉に直接散布すると葉害を生じることがあるので 株元散布を行う。
	トレファノサイド乳剤	一年生雑草 (ツクサ科、カヤツリグサ科、 キク科、アブラナ科を除く)	イネ科>広葉 残効性40日~50日	
	ブリグロックSL	一年生雑草、スギナ		1 周囲の作物への飛散を防止する。
	マイゼット			
ホウレンソウ	アージラン液剤	一年生雑草	薬量選択性	1 雑草の発生前~発生始期に使用し、砂質土では使用しない。 2 ヒユ科、アカザ科、カヤツリグサ科雑草に効果が劣る。
	クロロIPC乳剤	一年生雑草	選択性 イネ科>広葉 残効性 低温条件40~50日 高温条件4~5日	1 高温期に効果が劣るので秋冬作に使用する。
	ナブ乳剤	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	残効性 極短	1 イネ科雑草優占ほ場で使用する。
	ラッソー乳剤	一年生雑草	選択性 イネ科、カヤツリグサ科>広葉	1 砂土には適用無し。
シュンギク	アグロマックス水和剤	一年生雑草		
ダイコン	デュアール乳剤	一年生雑草	選択性 イネ科、カヤツリグサ科>広葉	1 イネ科雑草優占ほ場で使用する。 2 マルチ栽培またはトンネル栽培では使用しない。 3 極端な過湿土壌や砂質がかった土壌では、少なめの薬量とする。
	ナブ乳剤	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	残効性 極短	1 イネ科雑草優占ほ場で使用する。
	ラッソー乳剤	一年生雑草	選択性 イネ科、カヤツリグサ科>広葉	1 覆土は、ダイコンの発芽に支障がない程度に厚くする。 2 イネ科雑草には効果が高いが、アブラナ科やナデシコ科雑草には効果が劣る。 3 砂質土壌での使用を避ける。

野菜 除草剤一覧

2021年7月1日現在

作物	使用除草剤名	適用雑草	特性	摘要
ニンジン	カイタック乳剤	一年生雑草	イネ科広葉ともに有効 残効性40～60日	1 砂質土では使用しない。
	ゴーゴーサン乳剤30	一年生雑草	イネ科≧広葉 (ツユクサ、キク科除く)	
	コンボラル	一年生雑草 (ツユクサ・キク科を除く)		
	セレクト乳剤	一年生イネ科雑草	選択性	
	トレファノサイド乳剤	一年生雑草 (ツユクサ科、カヤツリグサ科、 キク科、アブラナ科を除く)	イネ科>広葉 残効性40日～50日	1 冬まきトンネル栽培のマルチ併用で、は種前処理をする場合は少ない方の薬量とする。 2 砂質土では少ない薬量から、さらに2～5割減とする。
	ナブ乳剤	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	残効性 極短	1 イネ科雑草優占ほ場で使用する。
サトイモ	ゴーゴーサン乳剤30	一年生雑草	イネ科≧広葉 (ツユクサ、キク科除く)	
	トレファノサイド乳剤	一年生雑草 (ツユクサ科、カヤツリグサ科、 キク科、アブラナ科を除く)	イネ科>広葉 残効性40日～50日	
カンショ	トレファノサイド粒剤2.5	一年生雑草 (ツユクサ科、カヤツリグサ科、 キク科、アブラナ科を除く)	イネ科>広葉 残効性40日～50日	1 砂土での使用は避ける。
パレイシヨ	トレファノサイド粒剤2.5	一年生雑草 (ツユクサ科、カヤツリグサ科、 キク科、アブラナ科を除く)	イネ科>広葉 残効性40日～50日	
	プリグロックスL	一年生雑草		1 いも萌芽前で雑草が発生した場合は有効である。
	マイゼット			
ゴボウ	アグロマックス水和剤	一年生雑草 (キク科、カヤツリグサ科を除く)		
	クロロIPC乳剤	一年生雑草	選択性 イネ科>広葉 残効性 低温条件40～50日 高温条件4～5日	1 は種直後に処理すれば、生青中期以後は茎葉が繁茂し、雑草の発生は少ない。 冬期～春期、茎葉がない裸地状態で萌芽前には処理できる。 2 高温期に効果が劣るので秋冬作に使用する。
ヤマモイモ	プリグロックスL	一年生雑草		
	マイゼット			
レンコン	モゲトン粒剤	ウキクサ類		1 水産動物に影響を及ぼすので、川または池等の周辺での使用は避ける。 2 水深を10cm程度に保ち、使用後は水の流動を少なくする。(少なくとも3日間) 3 アオミドロ、ウキクサに効果が高い。